

## ◆新型コロナウイルスの感染が広がる中、集中豪雨による大災害が頻発しています

今年初めからの新型コロナウイルスの影響で、「3密」「ソーシャルディスタンス」などの言葉が押し寄せ、「自粛生活」を強いられています。

5月末に緊急事態解除され、市民活動も徐々に元に戻りつつあると感じていた矢先に、集中豪雨等の大災害で「緊急避難」の事態に直面し、避難所での「新型コロナウイルス感染症」対策が急務の課題としてさし迫っています。

集中豪雨による緊急避難で、これまでのように「避難所」に多くの人が密集すると新型コロナウイルスの感染が広がるリスクがあり、今、「分散避難」の重要性が連日のように報道されています。

しかし、「分散避難」と言われても緊急避難に直面した時、自分や家族の命を守るため、冷静、適格に判断できるかは誰も想像できません。

成逸学区では平成20年から避難所運営マニュアル策定、以降改訂に取り組んできましたが、今回、新型コロナウイルス対応についての避難所運営マニュアルの検証、改訂作業が求められています。



## ◆成逸学区では今年度は、「新型コロナウイルスの感染症対策と自然災害の複合災害時の『分散避難』の検証と「避難所運営マニュアルの改訂作業」に取り組めます

「分散避難への心がけ」について裏面で紹介していますので、是非熟読頂き、家族で確認してください。

今年度は「分散避難について成逸学区でどのように対応するかを検証」を進めるとともに、「新型コロナウイルス感染症対策」を考慮しての「避難所運営マニュアル改訂」に取り組めます。

### 成逸学区避難所運営マニュアル



平成20年12月作成  
平成25年12月改訂  
平成29年2月改訂  
平成30年1月改訂  
成逸自主防災会

## 【京都新聞 7月9日朝刊記事】 京都の避難所開設で課題が浮き彫りになっています

「避難所における新型コロナウイルス感染症対策」については、国、京都市及び医師会等から詳細なマニュアルが発表されていますが、実際の避難所ではまだまだ混乱が続いています。誰も想定いなかったことで、これからも混乱が予想されます。

## 京の避難所 感染予防に腐心

避難所を開設した上高野学区自主防災会の山義昭会長(69)は「避難者が少数で協力的だったので混乱しなかった」とした上で、「多数の人が来たら対応は難しい。過密になったらどうするか、換気や空調はどうするかなど課題は山積している」と指摘する。



左京区の上高野小では、地域の自主防災会が午前6時ごろから約4時間、校舎の一室に避難所を開設し、4人が訪れた。入り口の受け付け場所には手指用の消毒液が用意され、スタッフの住民が非接触型の体温計で検温したり、マスク着用を促したりした。体調が悪い人がいた場合に備え、別室も準備した。

こうした対策は、市が5月下旬に改定した避難所の運営マニュアルに盛り込まれている。このほか、調査票を用いた体調チェックや居住スペースは2人以上の間隔を開けて設けることなども決められている。

別の問題も浮き彫りになった。市は避難所の感染予防を徹底するため、区役所・支所の職員が自主防災会のスタッフと一緒に避難所の受け付け業務を担うとする。しかし今回開設した14カ所のうち、4カ所には職員の姿はなかった。市防災危機管理室は「参集する職員の仕組みが十分に整っていないかった」とし、体制整備を図っていくとする。(上口祐也、井上真央)

### 新型コロナウイルス発生後初の開設

梅雨前線の影響で激しい雨に見舞われた8日、京都市では北区和左京区、右京区などの14カ所に避難所が設けられた。新型コロナウイルス感染症が発生してから初の避難所開設で、入り口での検温といった感染予防策が取られた。一方、避難所に駆け付けるはずの市職員が来なかった場所もあり、市は早急に改善を求められそうだ。

検温や消毒「多数なら困難」課題も

## 『分散避難』への心がけ

災害の発生の恐れがあり、**緊急避難が迫った時**、避難所に多くの人が避難して密集すると、新型コロナウイルスの感染が広がるリスクがあります。緊急避難の避難場所としては「避難所」以外にも、「在宅避難」「**親戚や知人宅**」「**ホテル**」「**車中泊**」など様々な避難先に、**分散して避難することが大切です。**

緊急の災害の危険がせまったら  
**あなたはどこに逃げますか？**

避難の大原則  
**危険が迫る時はためらわず逃げる！**

感染リスクを減らすため  
**分散して避難**する方法が有効です

しかし、避難所に**人があふれる**  
→感染リスクが高まる

## 『分散避難』とは

避難所の密集を避けるため、避難先を分散させること



①自宅の場所が  
安全な場所にあるか？  
頑丈な建物か？  
高い階に避難できるか？  
●すべてあてはまる場合  
→自宅にとどまる方法を  
考えてみてください

②親戚・知人の家やホテル  
**事前に確認**  
安全な場所にあるか？  
そこまで安全に避難  
できるか？  
→親戚、知人宅には  
**お願いの連絡**をしておく

③車の中  
安全な場所にとめられるなら  
→**一時的に過ごす**ことも  
考えてみてください  
●過ごす際は  
**換気や適度な運動**を  
忘れずに行いましょう

## ◆以下の点については十分にご留意ください！！！！

- 「緊急避難の避難場所」は避難生活のための「避難所」とは混同しないように！
- 在宅避難にご注意を！ 垂直避難でも犠牲になられていますし、余震のリスクもあります！
- 知人宅やホテルは確実に使えるか、事前に検討しておくことが大切です
- 緊急避難での車利用は避ける！ 緊急避難の車利用と避難生活の車利用を混同しないように
- 分散避難はみんなばらばらになります。必ず**避難先をご近所か、町内会長に連絡すること！！！！**